ようこそ
メリーランド
州議事堂

Courtesy of State House Visitors Center

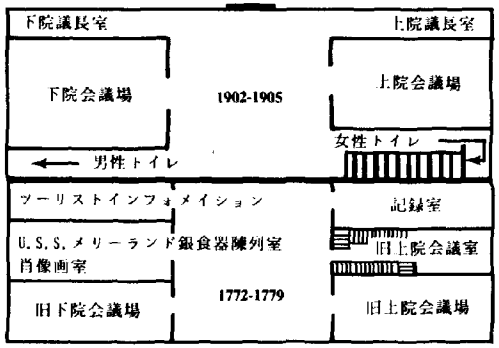
メリーランド州の議事堂は、アメリカ合衆国内で使用されている州議事堂の中で最も古いものです。　1783年11月26日から1784年8月13日までの間、ここは、大陸会議（Continental Congress　アメリカが独立する前後に開かれた諸州代表者会議）の議事堂にもなりました。　アメリカの国会議事堂として使用された唯一の州議事堂でもあります。

この州議事堂は、1772年に建築に着手し、アメリカ独立戦争（1775～83）の勃発で遅れはしたものの、1779年に完成したものです。アメリカ合衆国の中で最大の木製ドーム（丸屋根）ですが、糸杉の梁と木くぎを使って作られています。

議事堂の最初に建築された部分の内装は、木としっくいです。　増築された部分は、脈の入ったイタリア・カララ大理石を使って1902年から1905年にかけて作られました。幅の広い黒い線が中央ホールを横切っていますが、これが当初の部分と増築部分の境を表しています。

上院と下院の本会議場が一階にあり、古い部分の二階には、知事室と副知事室があります。

旧上院会議場は、数々の歴史的な出来事の舞台になっています。　1783年12月23日、ジョージ・ワシントンが、大陸会議軍の将軍の地位を辞した場所であり、1784年1月14日には、独立戦争の終結のパリ条約がここで批准されています。　暖炉の上にある「ヨークタウンの戦いでのワシントン」という絵は、メリーランドの画家チャールス・ウイルソン・ピールの1784年の作品です。　これは、将軍ジョージ・ワシントンとその副官で秘書のテンク・テルマン大佐、それにラファイエット侯爵を描いています。



二つのガラスケースに陳列されている銀食器は、1906年に装甲巡洋艦 U.S.S.メリーランドに贈られたもので、後、戦艦 U.S.S.メリーランドに引き継がれました。　この銀食器は、メリーランドの23の郡とボルチモア市を表したもので、州全域の市民及び学校の生徒からの贈物であったのです。　銀食器にある全ての装飾は、歴史的な場面、事件又はその郡の生産物を表しています。

メリーランド州議会は、毎年90歴日、一月の第二水曜日に始まり、90日間の会期で開かれます。　47の議会選挙区があり、各地区から上院議員一名、下院議員三名が選出されます。　会期中、市民はギャラリーから自由に傍聴することができます。